

かめだより

発行：医療法人鉄蕉会 亀田総合病院/地域医療支援部・地域医療連携室
発行責任者：亀田信介 編集責任者：唐鎌房子

〒296-8602 千葉県鴨川市東町929

TEL：04-7099-1261(内線7156)

index

P2 …がん拠点病院推進センターより

AoLani プロジェクトシリーズ

P3 …亀田総合病院内各部署のご紹介
栄養管理室

P4 地域医療機関さまより

P5 … 当院診療科より

P6 … リハビリテーションの挑戦!

P7 …スタッフひろば

マイブーム

P8 …トピックス 勉強会・
研修会スケジュール

がん拠点病院推進センターより

セカンドオピニオンについて

クリニック医事課 鈴木利江



当院は、地域がん診療連携拠点病院として全国どこからでも質の高い医療が受けられるように、厚生労働大臣が指定した病院として、役割を果たすことのできる医療体制を整え、他の医療機関との連携を強化し、がん患者サービスに貢献することを目的としています。

近年、医療をとりまく急速な変化により、セカンドオピニオンを求める患者さまが増加しています。

当院のセカンドオピニオンの基本は、患者さま自身または家族が病状や治療方針について、他の医師の意見を求められる場合の診療を原則とします。つまり、主治医による診断や治療の説明に加えて、専門医の意見を聞いて、自らの治療方法を選択したいと考える患者さまの要望に応えるためのものとなります。

当院では、2004年4月より、セカンドオピニオン外来を開設しております。年間で約150件～160件のセカンドオピニオンをお受けしております。

予約と診療のルールとして、予約センターへのセカン

ドオピニオンを申し込まれた患者さまに、専門医、予約日時、料金、必要な持参資料など、当院のセカンドオピニオンの内容を説明の上、ご了解いただいた患者さまの診療予約を完全予約制でお取りしております。

予約の際には、かかりつけの医師によくご相談の上、当院の予約をお勧めしております。また、予約可能な診療内容であるかの確認や、日程の調整のため医師へ確認が必要な診療科もあり、予約の確認までにお時間を要することがございます。

予約患者さまご自身が来院できず、ご家族のみが患者さまに代わってセカンドオピニオンを受ける場合、個人情報観点からご本人の同意書やご本人との続柄のわかるものが必要となります。ご理解の程、宜しくお願い致します。

セカンドオピニオンを受けることによって、不安要素を少しでもとり除き、最善な治療を受けられることを願っております。

【お問い合わせ先】

・亀田クリニック予約センター

TEL/04-7099-1111

受付時間 /8:00～17:00(日曜・祝日を除く)

～ 院内ネットワークから地域ネットワークへ ～

地域医療連携と AoLani プロジェクト

アオラニ



シリーズ 10 : AoLani 導入第 1 弾

鉄蕉会 CIO 中後 淳

シリーズ-9では、AoLaniのコンセプトを支えるルールについてお話ししました。これまでのシリーズでは「AoLaniっていったい何なの?」ということの説明してきましたが、今回からは実際の導入レポートや開発裏話などを中心にお話ししたいと思います。

亀田グループでは本年5月9日に亀田 IVF クリニック幕張という不妊治療クリニックを開院しました。新しいクリニックの開設に当たり電子カルテをどうするか、情報部門の責任者としてとても悩みました。AoLaniは開発に時間がかかり、当初の計画よりもずっとスケジュール

が遅れていました。5月は現場で使えるAoLaniの開発が間に合うかぎりぎりのタイミングでした。新設クリニックなのでできれば新しい電子カルテでスタートしたい、しかし十分なテストを行う時間もないまま本番で使用するのはとても大きなリスクを伴うという状況で、AoLaniの導入を決定した





メディカルレポート

入院患者さまの栄養管理について

栄養管理室 鈴木洋子

栄養管理室は、入院患者さまへ安心・安全な食事提供はもちろんのこと、入院中の大きな楽しみの1つとして頂けるように、常食(制限なし)は、毎食選択メニューを実施しています。「□から食べる事は生きる事」をモットーに、特別な「病院食」と言うより、普段自宅で召し上がっている、「家庭食」に近い食事を提供するように心がけており、全食種に行事食や、手作りの「しおり」を添え入院していても季節が感じられ、五感で味いながら美味しく召し上がって頂けるように、満足度の高い食事提供を目指しています。

更に、NST・栄養管理委員会として稼働し、栄養評価・栄養管理の側面から栄養不良状態・栄養に問題のある患者さまに、多職種での栄養サポートを行う、チーム医療への取り組みをしています。

業務内容は、大きく分けて「フードサービス」と、「クリニックサービス」の2つです。

1. フードサービス

- ・入院患者さまに適した、安心・安全な食事提供
- ・病院食や治療食を、美味しく食べやすくする
- ・HACCPに基づく衛生管理
- (仕込み↓調理↓盛付け↓配膳↓下膳↓洗浄↓殺菌保管)
- ・献立の作成・管理、食品・食材の管理、各種帳票類の管理

2. クリニックサービス

- ・栄養管理計画書(全入院患者さま)
- ・入院時栄養食事指導、集団指導(母親学級・糖尿病教室など)
- ・NST(栄養サポートチーム)による栄養評価と栄養管理

・在宅訪問栄養食事指導、地域医療連携

当院のような地方の急性期病院が等しく抱える問題は、患者さまの高齢化と独居化への対応です。しっかりと自分の□で食事が食べられるようになり、病気やケガを速やかに治し、日常生活を自分でできる様になつて退院して頂きたいと考えます。

それには、栄養状態の把握と管理が非常に重要です。食事が摂れず、正しい栄養補給が出来ないと、どれだけ治療してもなかなか回復できません。そこで、栄養状態や褥瘡の有無などをスクリーニングして、栄養管理が必要かどうかを判断し、患者さまにあった栄養管理方法を選択するという手順で行われます。

* 栄養管理計画書

入院時の全患者さまに、看護師による褥瘡の危険因子評価、MNA-Short Form(簡易栄養状態評価)を実施しています。更に、管理栄養士が、必要栄養量の算出・B.M.I・栄養方法・食事摂取状況や、血液検査をスコア化して栄養管理計画書を作成しています。それに基づき、栄養スクリーニングをして、高リスクや低栄養患者さまを抽出しています。

* NST(栄養サポートチーム)

当院では、NST(様々な医療スタッフがチームを組み、患者さまに最もふさわしい方法で、栄養状態を良好に保つことを目的とするチーム)活動をしています。栄養状態が悪いと治療してもなかなか回復しにくく、手術後に感染症や合併症を起こすケースもあります。また、食事を旨く飲み込めない、喉の力が弱くなっている等の方には、ごろみの調整や当院の嚥下食など、食事形態の調整をしています。

△ NST 依頼の推奨基準 △

- ・MNA-Short Form(簡易栄養状態評価)7点以下、75歳以上
- ・主治医・担当医が必要と判断した場合

在宅訪問(栄養食事指導)や地域医療連携も、密にしていきたいと思っております。これからも宜しくお願い致します。

けて開発してきた以上にAoLaniの足りない部分に分かり、現場で使われることで大きな進化を遂げているように感じます。それでもまだまだ未熟ですが、これから一気に成長するであろうと確信しました。亀田IVFクリニック幕張の皆さま、AoLaniプロジェクトのメンバーに改めて感謝したいと思います。

とにかく、これから地域連携の基盤としてAoLaniを成長させていく、その第1歩を踏み出したこととなります。次の段階は亀田グループの病院・クリニックに随時導入を進め、亀田グループ内での連携基盤として実践で機能を高めていくこととなります。(次回は、AoLaniのコンセプトでもあるデータの活用について、現在のトピックスやこれからの戦略などを絡めてお話ししたいと思います。)

のは開院1カ月前でした。その段階でもまだ不足機能の開発をしていましたし、システムの設定や使い方の研修など、本当に突貫でクリニックのスタッフやプロジェクトメンバーが全力で準備にあたり、なんとか開院に間に合わせることができました。

ぎりぎりのところで導入を決定した一番大きな要因は、亀田グループの理念「Do & Think」です。これは、「まずやってみてから考えよう」ということです。シンプルな言葉ですが、実際に実行するのは大変な決断が必要になります。歴代の亀田グループの経営陣は大変な決断を先にしてから対応を考えるということを実行してきて今があるのだということを実感しました。

AoLaniはまだまだ未熟な段階で現場導入され、現場の皆さまには大変な苦勞をかけました。結果的には3年か

地域医療機関さまより



医療法人社団寿会 **小林病院**

病院長 小林 剛



当院の歴史

医療法人社団寿会 小林病院は千葉県館山市の船形にある療養型病床を持つ病院です。当院は昭和 20 年軍医大尉であつた祖父 小林清美が船形西行寺で戦傷者の治療にあたつたのが始まりです。山梨県出身でしたがこの地を愛し、昭和 23 年に 4 床の小林医院を開院致しました。昭和 48 年、父 小林宏が現理事長 小林輝久を含め 3 人兄弟で 29 床の小林病院を開設。昭和 51 年に増築し 96 床となった後、平成 6 年、一般病院から 99 床の療養型病床に移行しております。それに伴い平成 7 年より随時訪問看護、訪問診療など在宅

医療部門を開始。小林輝久理事長以降、私で 3 代目となり 2 代目同様に 3 人兄弟で運営しております。

今後の超高齢者社会に向けて

安房地域は千葉県の中でも最も高齢化率の高い二次保健医療圏であり、すでに 2025 年の全国平均高齢化率を上回っています。実際ここ 5 年という短い期間でも、以前より明らかに在宅生活に悩みを抱える患者様が増えていると感じます。脳卒中などの急性疾患で生活が一変することも少なくありませんが、実際は加齢と共にだだらかに生活力が低下し介護状態となる高齢者が大半であり、皆さん自分らしさを保ちながら生活していくことに難渋していらっしゃると思います。

人はいずれ死ぬ、と言う事実は変わりませんが、超高齢者が多くなった現代社会で人生の終末期をいかに本人や御家族の希望に沿ってマネジメント出来るか、それが私たちの使命であり、役割です。癌その他慢性疾患の緩和医療に積極的に取り組んでおり、今後とも各医療機関の皆様方との連携を密にして地域医療における役割を果たしていきたいと思ひます。

〔外来診療科〕・内科

- ・消化器内科
- ・整形外科
- ・リハビリテーション科

〔療養施設〕

- ・医療療養病床 84 床
- ・介護療養病床 15 床

〔在宅部門〕

- ・ほほえみ訪問看護ステーション
- ・ヘルパーステーションスマイル
- ・通所リハビリテーションほほえみ
- ・居宅介護支援事業所ほほえみ
- ・訪問リハビリ (PT, OT, ST)
- ・訪問診療



病棟スタッフ



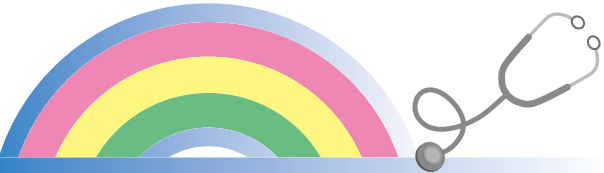
リハビリテーション室



物理療法室



デイサービススタッフ



当院診療科より

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
歯科口腔外科部長 田村英俊



歯科口腔外科が政令によって標榜診療科として認められたのは私が歯科医師になってから3年後の平成8年のことでした。同年にはアレルギー科、心療内科、リウマチ科、リハビリテーション科が、それぞれ広告可能な標榜診療科として認められています。

ちなみに歯科は昭和23年、矯正歯科と小児歯科は昭和53年に標榜診療科として認められています。私の母校である東京歯科大学（当時は東京歯科医専）の遠藤至六郎が1917年に教授となり口腔外科を担当し、1923年には口腔外科学講座を創立、さらにその10年後の1933年に日本口腔外科学会を設立しました。口腔外科が歯科口腔外科という標榜診療科として認められるまでの経緯は紆余曲折があったようですが、口腔外科は、扱う疾患が歯科の中では特殊であることと、医科と診療領域が近接していることも無関係ではなかったようです。

口腔外科学会が設立された当時、学会員の構成は歯科医師と医師は半々ぐらいの割合だったそうです。その後歴史的には、口腔外科は歯科医療の中で発展してきました。しかし、口腔外科は口腔とその周囲疾患に対し、主に外科的手段を用い治療することから、侵襲は局所に留まらず、全身にも及ぶため、伝統的な歯科医学に加え、常に医学の進歩に歩調を合わせ研鑽を積みながら発展してきました。

前置きとして口腔外科の歴史について少し説明致しました。さて、当科では歯科口腔外科疾患全般について治療対象としておりますが、その中でも亀田総合病院で入院加療を要する代表的な疾患の口腔腫瘍と顎変形症についてご紹介させていただきます。

口腔腫瘍

特に頻度が高いのが、舌がんや歯肉がんなどの口腔悪性腫瘍で、がんの進行が早く、頸部リンパ節や全身に転移しやすいがんとして知られています。治療は腫瘍内科、放射線科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、緩和ケア科、リハビリテーション科、消化器内科を始め、多くの診療科の協力のもとで行われています。関係各科が集まるカンファレンスでは、がんの大きさや転移の有無、年齢や全身状態を検討し、手術、放射線治療、化学療法（抗がん剤治療）など、治療方針を決定しています。再建を含む口腔がん術後の患者さまは、ハイケアユニットなどの集中治療室で管理されることもあります。治りにくい口内炎や口の中の痛み、しびれなどの異常を訴える患者さまは、早期の口腔がんかもしれませんので、注意が必要です。

顎変形症

顎変形症は、上顎、下顎の骨の形態や大きさ、頭蓋に対する位置の異常が原因で起こります。顎のバランスが崩れているので、見た目の問題だけではなく、咬み合わせが悪く上手く噛めない、滑舌が悪いなど機能の異常を生じることがあります。

顎変形症の治療は、矯正治療と外科的手術の組み合わせによって行います。下顎の過成長によって、いわゆる受け口の状態になっている状態を下顎前突症といいます。その見た目は、元プロレスラーのアントニオ猪木さんの顔貌をイメージしていただくと分かり易いです。

下顎前突症は、手術で下顎を短くして後方へ下げることによって、上下顎の歯が咬めるように治療しますが、このとき行われる手術法は下顎枝矢状分割法が適応されます。日本口腔外科学会ではこの術式を適応するにあたり、ガイドラインで治療指針を示していますが、ガイドライン作成にあたっては、18年前に私が作成した学術論文が採用されています。亀田京橋クリニックの特殊外来では、毎月第2、第4水曜日に顎変形症外来を開き、東京を中心に全国の矯正の先生から患者さまをご紹介いただいております。

歯科口腔外科では口腔腫瘍や顎変形症のみならず、顎骨骨折などの外傷治療、歯や顎を失った患者さまのための人工歯根（デンタルインプラント）治療、親知らずの抜歯、顎骨とその周辺の感染症治療なども行っています。救急センターからの連絡に早急に対応できるよう、医科の多くの診療科同様、24時間拘束体制をとっています。今後とも多くの患者さまをご紹介いただけますと幸いです。宜しくお願い致します。

リハビリ テーションの 挑戦!



第3回

「血液透析患者に対する 透析中の運動療法」

亀田総合病院 リハビリテーション室 小柴 輝晃

日本透析医学会の発表では、我が国の透析患者数は2011年末に30万人を超え現在約32万人が透析医療を受けています。透析人口全体の平均年齢は69歳と年々高齢化し、重複した障害やADL、QOLの制限を有する割合も高くなっています。これらの問題に対して、亀田総合病院では、運動療法の視点でサポートするため、2014年より医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士で透析中の運動療法プロジェクトを立ち上げましたので、ご紹介させていただきます。

運動制限の時代から運動推進の時代へ

腎不全患者は1998年頃までは、病状に応じて運動制限が提示されてきました。近年、多くの研究が進められ、運動をしない透析患者の生命予後は不良であることが判明し、透析患者においても運動することが推奨されるようになりました。そのため、透析中に運動療法を行う方法等が開発され、運動の継続が難しい方でも週3回の透析日を活用しての運動習慣確保の提案がなされてきました。

透析中に運動することは危なくないの?

外来透析中の運動療法を導入するにあたり、リスク管理が課題でした。この問題に対しては心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドラインを参考に運動負荷試験の絶対禁忌は対象から除外し、それに該当しない方や相対禁忌を有する場合においても医師によるリスク判定が行われています。さらに、透析中の運動療法を実施する前に

身体評価から運動リスクの階層化を通して運動計画を行っています。運動療法実施中も血圧や主観的運動強度(Borg scale)などチェック基準を設け、それらをモニタリングしながら、安全な運動療法を心がけています。

透析中の運動療法実際

透析開始2時間以内に、ストレッチ、Borg scale13(心拍数130回/分)以下の負荷でのチューブエクササイズ、手指機能練習、フィジオロールボールでの足踏み運動を実施します。3回/週での頻度で実施し、2ヶ月毎に個別評価を行い、運動計画の見直しも行います。運動は理学療法士による個別指導から開始し、徐々に自主練習に繋いでいます。



今後の展望

運動療法介入に際し安全性を優先したため、対象者はADLが自立され、運動療法の実施に対して心血管疾患等のリスクの低い方から進めています。今後は生産世代の方は何らかの形で就労すること、ADLが低下してきている方は介護リスクの軽減、運動が難しい方や運動リスクが重症の場合は、入院の回避など患者教育を含んだ介入を行うなど、対象者に応じたより個別性の高い運動療法の在り方を構築していく予定です。

スタッフ ひろば

地域医療連携室
メンバーから

今回のご紹介内容

・氏名

①部署 / 職種

②好きな味噌汁の具

③心の落ち着く場所



草薙 洋

- ①診療部 消化器外科
医師
- ②大根
- ③某飲み屋



蔵本 浩一

- ①診療部 緩和ケア科
医師
- ②ハマグリ
- ③タコ公園（那古）



丸山 祝子

- ①看護管理部
助産師
- ②ワカメと玉葱
- ③運転中の車の中



杉田 登子

- ①地域医療連携室
看護師
- ②わかめ
- ③波打ち際が
見えるところ



安室 修

- ①薬剤部
薬剤師
- ②長ねぎ
- ③お風呂



神作 聖美

- ①看護管理部
看護師
- ②じゃがいもと
玉葱とわかめ
- ③自分の家のベッド



打野 弘子

- ①総合相談室
看護師
- ②なめこ汁
- ③自宅の
ソファの上



吉野 有美子

- ①総合相談室
看護師
- ②あさり
- ③自室の座椅子



鎌田 喜子

- ①総合相談室
MSW
- ②大根と麩、
筍、じゃがい
もとレタス
- ③乗鞍高原の
せせらぎの
聞こえる所



児玉 照光

- ①総合相談室
MSW
- ②お豆腐・あさり
- ③布団の中



新田 静江

- ①亀田医療大学
老年・在宅看護学領域
教員（看護師）
- ②お豆腐・あさり
- ③自分の庭と畑



栗栖 千幸

- ①亀田医療大学
教員（看護師）
- ②豆腐
- ③秘密



中村 雅代

- ①地域医療連携室
事務
- ②あおさとじゃが
いも
- ③家のトイレ



林 裕子

- ①地域医療連携室
事務
- ②なめことお豆腐
なすとみょうが
- ③お風呂の湯船につかる



吉野 希望

- ①地域医療連携室
事務
- ②ワカメ・豆腐
- ③居酒屋の座敷



番場 陽平

- ①情報戦略室
事務
- ②白菜と玉葱
- ③夕暮れ時の海辺



黒川 亜純

- ①地域医療連携室
事務
- ②豆腐とわかめ
- ③お風呂



唐鎌 房子

- ①地域医療連携室
事務
- ②はば海苔と魚ミンチ
- ③習字の教室

亀田総合病院スタッフの マイブーム

「ファッション」

私は服飾の大学を出ました。以前はアパレルの仕事をしていたのですが、今年の3月に亀田総合病院に入職しました。今は洋服とはかけ離れた生活になっています。

そもそも私が服飾の大学に入るきっかけとなった出来事は、ベルギーにあるアントワープ王立芸術アカデミーの学生のファッションショーをテレビで見たことです。私と年齢の変わらない方々の発想

が余りにも独特でとても魅了されてしまいました。何度も何度も動画でショーを見ていくうちに、私も自分で服を作りたいと思うようになりました。

学生の時には、スーツやドレスなど様々な物を作り、友達の書いたデザインのワンピースを作ってプレゼントしたりしていました。最近はすっかり何かを作るといっても無くなってしまいました。が、やはり…洋服が大好きです。自分でデザインをして一から作ることが好きです。私の永遠のマイブームとも言えるファッション!!! これを機会に、自分でパターンを引き、自分の身体に合ったスーツとブラウスを作ってみようかな??

と思いました。今から始めて今年中には完成させたいと思います。

学生の時にも、ブラウスとスーツのセットアップを作りましたがそれはクローゼットの中に眠ってしまっています。衣替えの時期になるのでそろそろ出してみようかと思っています。

今、毎日スーツを着て仕事をしているので、大学で学んだ事をまた生かしてみようと思います。マイブームと言うよりはこれから取り掛かる作業になってしまいましたが、ものづくりは今でもどきどきします。洋服作りを趣味としていろいろな物を作っていきたいです。

ゆか

勉強会・研修会スケジュール

勉強会予定をご案内いたします。

毎回趣向を凝らして計画しておりますので是非ご参加下さい。

1. マインドフルネス勉強会

～今という瞬間を意識的に生きる～

(3回シリーズ) 第1回は終了いたしました。

講師：高野山大学教授 井上ウィマラ先生
会場：亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホール
対象：医療従事者

第2回 トraumケアとマインドフルネス
～告知によせて～

日時：10月8日(土) 9:00～16:00

第3回 文化の中で命に寄り添う心づかい

日時：12月10日(土) 9:00～16:00



▲ 第1回勉強会

2. 安房地域看護勉強会

(4回シリーズ) 第1～3回は終了いたしました。

第4回 褥瘡管理

講師：WOC認定看護師 小倉美輪
会場：安房地域医療センター2階会議室
対象：看護師
日時：10月21日(金) 18:00～19:00

3. いすみ地域看護勉強会

(4回シリーズ)

会場：いすみ医療センター2階会議室
対象：看護師

第1回 感染管理

講師：感染管理認定看護師 古谷直子
日時：11月17日(木) 18:00～19:00

第2回 医療安全 Part-1 基礎知識

講師：セーフティマネージャー 川洲朋美
日時：12月9日(金) 18:00～19:00

第3回 医療安全 Part-2 重大な事故対策

講師：リハビリテーション科部長 宮越浩一
日時：1月17日(火) 18:00～19:00

第4回 褥瘡管理

講師：WOC認定看護師 佐藤理子
日時：2月24日(金) 18:00～19:00

4. 第13回緩和ケア基礎研修会

(2日間)

講師：疼痛・緩和ケア科 蔵本浩一 (企画責任者)
疼痛・緩和ケア科 関根龍一
心療内科・精神科 大上俊彦 他3名

会場：亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホール
対象：医師・医療従事者

日時：2月11日(土)～12日(日) 9:00～17:30

※第12回は10月1日(土)～2日(日)に実施致します。

5. ELNEC-Jちばコアカリキュラム
看護教育プログラム

(2日間)

講師：緩和ケア認定看護師 千葉恵子 他3名

会場：玄々堂君津病院2階大会議室

対象：看護師・医療従事者

日時：10月29日(土)・11月12日(土) 9:00～16:00

6. がん就労支援講演会

『就労継続をするために知っておきたいこと
～実体験から学ぶ～』

講師：渡邊慎介先生(ピア・サポーター)
近藤明美先生(社会保険労務士)

会場：亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホール
対象：一般・医療従事者

日時：10月15日(土) 13:30～16:00

7. 市民フォーラム

『冷蔵庫の中身であなたの体はできている』

講師：村山彩先生(日本初のアスリートフードマイ
スター・食欲コンサルタント他)

会場：亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホール
対象：一般

日時：12月3日(土) 13:30～15:10

8. 第9回房総がんケアフォーラム

『ライフデザインノートを書いてみよう!』

講師：亀田医療大学看護学部 足立智孝先生

会場：亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホール
対象：一般

日時：1月14日(土) 13:30～16:30

